

百年後も続かせるお寺である為に

酒井 菜法

埼玉県SDGsパートナーに県内初の宗教法人として令和三年七月三十一日に認定された事の発表を元に「百年後も続かせるお寺である為に」何が出来るかを考える一助となれば幸いです。(資料①)

認定の一因は、高應寺が様々な活動を継続している事が評価されました。(資料②) また、その様々な活動を埼玉県SDGsパートナー申請書に沿って詳細に記載した事も認定の一因です。(資料③、④)

SDGsとは国連が二〇三〇年までに人類がこの地球、社会で暮らし続ける為にやるべき具体的目標を掲げたものです。この「地球」の中では、お寺も私という僧侶も一員であるからこそ共に関わるべきと思いい申請しました。

埼玉県内では現在三一五の団体や法人が認定されていますが、宗教法人は高應寺が初めてです。

しかも三郷市内ではI K E Aと高應寺だけです。三郷市はSDGsに対して具体的な取組や申請書はありません。各都道府県、市町村によって取り組みや申請内容は様々です。

高應寺は内閣府地方創生プラットフォームにも加盟しました。発足式では経団連会長がSDGsのポイントは「稼ぐ地域をいかに作るかだ」と仰っていました。僧侶にとって「稼ぐ」と聞くと場違いな気持ちになります。SDGsを金儲けに利用していると思えますが、「稼ぐ地域」は「持続可能な地域」「百年後も続くお寺」であると言い換えればとても大事な事です。

僧侶一人では救える命に限りがあります。官民連携し「仏教で救済する」事が承認されたことは驚くべきことです。

いままで、様々な活動を行政と連携して出来ないか模索してきましたが、宗教法人法により新宗教やカルト宗教と同じように扱われ高應寺も門前払いでした。今もそれは変わりませんが、埼玉県SDGsパートナーはSDGsに掲げられているとおり、「誰一人取り残さない社会の実現」を目指してお寺や僧侶も加えられるべき事を証明したのです。「おてらおやつクラブ」がグッドデザイン賞を受賞したように、お寺と地域の関わりが重要視される時代になりました。建造物や仏像の価値や歴史だけでなく、社会の為に何をするかが求められているのです。

誰一人取り残すことなく持続可能な社会にする為に誰がどのように行動するかが大事です。経団連や牧師が示すSDGsではなく、日蓮宗僧侶が法華経の精神で能化の自覚を持ち各々に出来るSDGsに取り組む事はとても導きとなり地球、社会、お寺、衆生が救済できるのです。

今後、SDGsパートナーは、他の新宗教も認められる事になるでしょう。それはそれで、大事なことです。一刻も早く、多くの本宗寺院がSDGsパートナーに認定される事を願います。

本宗寺院が申請する際の参考に、高應寺の申請書をご覧ください。(資料①、④)
私も埼玉県のSDGs申請事例集を見るまではSDGsの一項目毎に法華経の教えとどのように重なるかばかり考えていましたが、法人として何が出来るかに視点を変えるとSDGsが身近に取り組める事に気がつきました。

宣言書は埼玉県のHPで公開されています。環境、社会、経済の三側面でSDGs達成目標を三年後ならびに二〇三〇年に向けた指標を数値で記し一年ごとに報告します。(資料③)

基本的取組事項は通常は非公開ですが宣言書と共に行政に提出した具体的な内容を全て記載しましたので参考に提示します。(資料④)

取組事項①人権・労働をお寺として考えると、異文化やジェンダーへの理解、墓地や参拝の自由、僧風教育、勤務環境、セキュリティなど

取組事項② 環境をお寺として考えると、塔婆リユース、自然保護、井戸水など

取組事項③ 公正な事業慣行をお寺として考えると、個人情報保護、財務顧問など

取組事項④ 製品・サービスをお寺として考えると、サードプレイス開放、仏教を伝える工夫、墓地、悩み相談など

取組事項⑤ 社会や地域への貢献をお寺として考えると、サードプレイス開放、仏教を伝える工夫、墓地、悩み相談、支援活動など

取組事項⑥ 組織体制をお寺として考えると、檀家名簿のデータ化、セキュリティ、保険、百年続く運営など

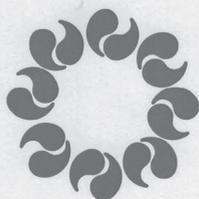
認定後は認定者限定のマッチングセミナーやイベントへの参加が随時案内され、オンラインセミナーや交流に参加する事ができます。例えば、古民家の再利用や不登校児童のアフタースクール、材木の再利用などお寺でも参考になるような団体が多数あります。

ぜひ参考にしてください。

質問などありましたら、お気軽にご連絡くださいませ。 nanohanaho@yahoo.co.jp

ご静聴ありがとうございました。

台掌



埼玉県SDGsパートナー

登録証

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

埼玉県SDGsパートナーとして登録し、ここに証します。

登録事業者： 宗教法人 高応寺

登録番号： 第265号

登録期間： 令和3年7月31日から 令和6年7月30日まで

埼玉県知事 大野 元裕



第二十七回法華經・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナー

宗教者の公共空間における実践

酒井 菜法

埼玉県三郷市高應寺住職、酒井菜法と申します。

はじめに私の発表の目次をお伝えします。まず、第一章で私の紹介をさせていただき、その後、臨床宗教師でなくてもできる、町や医療と連携する実例をお話します。第二章の、日本社会の背景や現状は、現代社会が宗教者に何を求めているかが伺えますが、本日はお時間がございませんので、資料としてご覧いただければと思います。第三章では私の気づきと宗教者が求められる理由について、第四章では上尾中央総合病院の様子をお話したいと思います。よろしくお願ひします。

さて、第一章です。私が臨床宗教師として活動の原点となっているのは、アメリカでの経験が大きく影響しています。父が仏教学者の三友健容で、カリフォルニア大学バークレー校の客員教授の際に、家族で渡米をし、幼少期はアメリカの小学校に在籍していました。ある授業で、友人のご両親が来て、自分の文化や人種、宗教などを話して下さいました。多種多様な宗教と価値観がある事を知りました。また、高校で厳肅なカトリック高校に一年間留学し、学校に隣接する教会内の緩和ケア病棟で働くホストマザーの配慮で、シスターが患者さんに寄り添う姿を見学させて頂き感銘を受けました。大学時代には、日蓮宗の海外布教の様子やチベット、台湾、イギリスなどで宗教者が寄り添う

207

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3年 6月 20日
 住 所 三郷市早稲田2-14-4
 県内企業等の名称 宗教法人 高応寺
 代表者役職 氏名 住職 酒井菜花

宗教法人 高応寺

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

創建400年の伝統仏教寺院(地域資源)として日本文化の継承、日本庭園の自然保護(ホタル・森青蛙・野鳥・樹木)、女性住職と地域の専門家(人的リソース)が連携したサードプレイス活動(がんカフェ・子ども食堂・マルシェ・ヨガ・書道・写経・毎朝坐禅・宇宙講演会・中学生職業体験・企業ストレスケア・マインドフルネス瞑想・悩み相談・不登校ケア・被災者支援・貧困支援・災害時井戸水支援・メディア・出版・動画配信・梵鐘)を持続可能で穏やかな社会を作る為に引き続き行う。国連がSDGsを提言したから急遽行うのではなく、「だれでも心穏やかになれるお寺」を地域の為に開き誰一人取り残さない救済を仏教の慈悲の精神で継続する。地域資源である高応寺が地域の人的リソースと共に仏教的ケアを公共的に行う為、他にはないSDGsの取り組みが出来る。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	樹齢400年の松や天然記念種の森青蛙、ホタルなどが引き続き生息できるよう境内の小川と池、樹木などを極力無農薬で管理する。その為、今までは高応寺で維持していた自然保護を支援者を集う事で持続可能となり、自然への理解、共生も次世代へ教育になる。 2020年支援者募集開始。	<2030年に向けた指標> 自然保護支援者30人 <取組開始3年後に向けた指標> 自然保護支援者10人
社会	コロナ禍により不安や不満が社会全体を一層脅かし、子どもの不登校や大人の鬱が増えている。ストレス軽減し心身共に健康である為にはサードプレイスが必要。サードプレイスとして高応寺が老若男女問わず誰でも心穏やかになれる企画を女性住職と地域の専門家が連携して行う事で公共性のある寺院としてケアし拠り所となる。 2020年利用者160人/月	<2030年に向けた指標> サードプレイスとしての利用者220人/月 <取組開始3年後に向けた指標> サードプレイスとしての利用者190人/月
経済	コロナ禍により全ての業種が不景気となり、若年層の貧困や自殺が増えている。その為継承やお金を気にする事無く従来の墓地よりも気軽に入れる永代供養墓や樹木葬など誰一人取り残すことなく供養でき、遺された人の心のケアも出来るような低価格墓地を用意することで救済できる。 2020年 低価格墓地 200件(累計)	<2030年に向けた指標> 低価格墓地350件(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 低価格墓地250件(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第3号)		SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)	企業・団体等の名称 宗教法人 高応寺	
分類	番号	取組の参考例	主なSDGs関連ゴール	自ら率先して取り組む具体的な内容 (県、市、町村の登録数や認証数がありましたら記載ください。)
① 人権的・倫理的取組	1	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、種が、国籍、出身などによる差別・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別・ハラスメントがないことを確認している。	5 6 8 10 16 17 18	自ら率先して取り組む具体的な内容 (県、市、町村の登録数や認証数がありましたら記載ください。)
	2	【労働時間・安全衛生・メンタルヘルス】 ・作業中の事故等を防ぐため、長時間労働の防止に取り組み、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。また、メンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる。	3 8 10	人権問題への取り組みとして、血液や性別に関わらず一線にお墨に入りたい人と一緒にお墨に入る永代供養費を作った。 労働環境の整備として安心で働けるよう前夜メラとセキュリティディーを強化した。
	3	【多様な人材】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	5 8 10 16 17 18	国や文化の違いがあっても平等に参拝できるお寺として異文化交流祭典などを行い、更なる歩んでいる。
	4	【人材育成】 ・能力開発、教育訓練の機会を企業・団体等の従業員・職員等に提供している。	4 5 8 9 10	
	5	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	5 8 10 16 17 18	
	6	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握と削減計画の策定・取組】 ・企業・団体等の活動するうえで、エネルギー使用量、温室効果ガスの排出量把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	7 12 13 17 18	地元で生産するホタル、文楽の文楽の舞踊、野鳥や約400年の歴史など自然を体験し、魅力を感じて入り来る事で、様々な生き物が生み出される。次世代が生き生きとしたものお墨にしていることを学ぶより自然・自然保護を支援者と共に目指す。持続可能な自然保護を目指す。
	7	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。	3 6 12 13 17 18	被災時時は井戸水を提供出来るよう、井戸水のポンプの定期検査を怠らずにどういう時のために備える。
	8	【生物多様性】 ・企業・団体等の活動が生物多様性及び生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	6 15 17	再資源として、昭和40年代に産産を走っていた都電の敷石を27枚使用し境内の敷石にしたことで世代を超え思いをはせながら、歩きやすくなった。
	9	【3Rの推進】 ・リデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化する)に取り組んでいる。	12 13 14 17 18	
	10	【再生可能エネルギーの利用】 ・太陽光パネルの設置や使用上エネルギーの契約内容を見直すことなど、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	7 13 17 18	

分類	番号	取組の参考例	主なSDGs関連ゴール	自ら率先して取り組む具体的な内容 (県、市、町村の登録数や認証数がありましたら記載ください。)
② 公正な調達取組	11	【汚染・廃棄物防止、公正な競争、個人情報保護】 ・汚染・廃棄物を禁止する方針、不正な行為に際しない方針を掲げ、企業・団体内部の従業員・職員等に周知している。個人情報を選択的に管理している。	12 16 17 18	
	12	【エコトレード】 ・発廃上固などで作られた作物や製品について、認証された品物のみ取り扱うなど、適正な価格で取引している。	1 8 12 17 18	個人情報を選択的に管理するため、厳重なシステム化している。 適正に取引し、信用が保たれず買断を深めるため、財務情報開示による適正な取引を行っている。
	13	【生産・物流・販売の管理】 ・サプライヤー(仕入れ元)、事業者(パートナー等)、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚染・廃棄物防止)について影響を共有し、共に取り組んでいる。	5 8 10 12 13 14 15 16 17 18	
③ ステークホルダー取組	14	【商品・サービスの安全性、品質保証】 ・取組商品やサービスの安全性を確保するための仕組み、品質のよい商品やサービスを提供するための仕組みを構築している。	3 9 12 17 18	誰一人取り残さない「寄り添い」を様々な専門家と連携して企画している。 がらカフェ、子ども食堂、マルシェ、遊園、ヨガ、手話講座、中学生職業体験、写経会、毎朝の坐禅会、マインドfulness実践、企業セミナー、YouTubeやzoom動画配信、永代供養費の樹木葬やガラス壺、法事や葬儀、四時折々を要する花祭、お仏、お彼岸、自然体験、ホタルの夕べ
	15	【環境配慮】 ・環境に配慮した商品の取扱い、サービスの提供、製品の開発・設計に取り組んでいる。	6 12 13 14 15 16 17 18	不登校の児童や大人の悩みに寄り添った活動 メディア出演や出演による社会全体への理解を深める活動 コロナ禍により全ての業種が不景気となり、若年層の貧困や自死も増えている。その為健康やお金を気にする事無く従来の業地よりも気軽に入居する年代の若者や高齢者や若年層と若年層を取り残すことなく併走でき、遺された人々の心のケアも出来るような低価格地帯を用意することで、教育で救済
16	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する商品の取扱い、製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18		

分類	番号	取組の参考例	主なSDGs関連ゴール	自ら率先して取り組む具体的な内容 (県、市町村の御協賛や御依頼が得られたら尚願ください。)
⑤ 社会貢献・地域貢献	17	【地域への配慮】 ・企業・団体等での活動等が地域に与える影響を把握し適切に対応している。	4 4. 質の高い教育をみんなに 9 9. 産業とイノベーションに力を集中させよう 10 10. 人や国・地域間の格差をなくそう 12 12. 持続可能な消費と生産を実現しよう	誰一人取り残さない「寄り添い」を女性性強と地域の専門家(人的リソース)と連携して企画している。
	18	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	4 4. 質の高い教育をみんなに 11 11. 持続可能な都市を創ろう 13 13. 気候変動に具体的な対策を 15 15. 陸の豊かさを保ち増進させよう 17 17. パートナーシップで目標を達成しよう	がんカフェ、子ども食堂、マルシェ、義演、ヨガ、手織講座、中学生職場体験、写真会、毎朝の地産卵、マインドフルネス実践、企業セミナー、YouTube や zoom 動画配信、永年健福の根柢骨やガラス瓶、法曹や教員、四手折々を愛でる行事、花祭り、お盆、お彼岸、自然保護、ホテルのタバ
	19	【地域資源】 ・地域資源(地場産)を積極的に利用(地産地消、地産外銷)している。	8 8. 持続可能な成長を促進しよう 9 9. 産業とイノベーションに力を集中させよう 11 11. 持続可能な都市を創ろう 12 12. 持続可能な消費と生産を実現しよう 13 13. 気候変動に具体的な対策を	不登校の児童や大人の習字など協賛依頼 チベットのネパール、ウィグルなどの支援を継続して行っている。 メディア出演や出版、講演による社会全体への理解を深める活動
⑥ 組織体制	20	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標、団体の活動目標等を内部で共有している。	8 8. 持続可能な成長を促進しよう 9 9. 産業とイノベーションに力を集中させよう 17 17. パートナーシップで目標を達成しよう	地域貢献、人的リソースと共に仏教的ケアが出来る高円寺は他にない付加価値がある。
	21	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが企業・団体内部に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	16 16. 公正で包摂的な社会を築こう	
	22	【組織体制】 ・企業・団体活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している。	8 8. 持続可能な成長を促進しよう 16 16. 公正で包摂的な社会を築こう	400年の歴史を汚すことなく、仏教に基づき生きとし生けるもの全てを救済するための日々精進する。
	23	【ステークホルダー(消費者、投資家など及び社会全体)との対話】 ・ステークホルダーとの対話により、企業・団体活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。	16 16. 公正で包摂的な社会を築こう 17 17. パートナーシップで目標を達成しよう	権威だけでなく、高円寺をリードプレイスとしての心の拠り所となる人々への対応を分け隔て無く親身に行う。
	24	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備する。また、事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。	9 9. 産業とイノベーションに力を集中させよう 11 11. 持続可能な都市を創ろう 12 12. 持続可能な消費と生産を実現しよう 16 16. 公正で包摂的な社会を築こう 17 17. パートナーシップで目標を達成しよう	労働の軽減とスムーズな可視化の術、専任社事をシステム化した。
	25	【社会的責任】 ・CSR(企業等の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。	8 8. 持続可能な成長を促進しよう 12 12. 持続可能な消費と生産を実現しよう 16 16. 公正で包摂的な社会を築こう	

①人権・労働、②環境、③公正な事業慣行、④製品・サービス、⑤社会貢献・地域貢献、⑥組織体制、それぞれの分野について、「自ら率先して取り組む具体的な内容」を御記載ください。今時点で取り組んでなくても、今後取り組む必要のある具体的な内容が記載されていれば登録可能です。その場合、今後取り組む予定のものには、固く【予定】と御記載ください。本様式は、それぞれの分野でどのような取組を行う必要があるのか参考例を示しており、これらに取り組むことで、SDGsのどのゴールに貢献するのか整理したものになります。勿論、参考例以外を記載していただいて構いません。申請者の皆さまそれぞれがSDGsを自分ごとと捉え、より積極的にSDGsに取り組むことへの参考として本様式を御活用ください。